

1 実施期間 平成26年11月27日(木)から12月26日(金)まで

- 2 閲覧方法 (1)市ホームページ
 (2)以下の場所に閲覧資料を設置
 ①市役所本庁、大東支所、大須賀支所
 ②中央図書館、大東図書館、大須賀図書館
 ③市内幼稚園、保育園、幼保園
 ④市内小学校

3 意見数(意見提出者数) 28件(8人)

4 意見の内訳

項目	意見数
第1編 総論	—
第1章 計画策定にあたって	1件
第2章 掛川市の子ども・子育てを取り巻く現状	0件
第3章 計画の基本方針	0件
第2編 各論	—
第1章 施策の展開	21件
第2章 事業計画	3件
第3章 計画の推進体制	0件
その他	3件

5 意見の概要と市の考え方

No.	項目	意見概要	市の考え方	備考	【参考】 計画ページ
1	第1編第1章1計画策定の趣旨	「幼児期の学校教育」とはどのような意味か。	「幼児期の学校教育」とは、学校教育法に位置づけられる小学校就学前の子どもを対象とする教育を言います。市民の方に分かりやすい表現とするため、「幼児期の教育」という文言に修正します。		1
2	第2編第1章施策1-2(1)幼保一元化の推進	幼稚園化で園が大規模になったからこそ、個々の子どもへのきめ細やかな対応が必要である。	施策1-2は「子どもの個々の特性や発達などを踏まえた、質の高い乳幼児教育が受けられる環境が整っている。」を目指す姿としています。この目指す姿実現のために、各種施策を実施していきます。	3件	58
3	第2編第1章施策1-2(1)幼保一元化の推進	幼稚園、保育園の統合で、外で遊ぶスペースが十分でないように感じる。	認可基準を満たしていることから、各園の園庭の面積は充分であると考えています。施策1-2施策の方向(3)に「安全・安心な園環境の整備」を位置づけていますので、施設・設備の充実には引き続き努めます。		58
4	第2編第1章施策1-2(2)保育者の資質・意欲の向上	保育園に通う子どもにも充実した教育をお願いしたい。	施策1-2に「子どもの個々の特性や発達などを踏まえた、質の高い乳幼児教育が受けられる環境が整っている。」という目指す姿が掲げられているとおり、保育園に通う子どもへの充実した教育にも努めます。		58

No.	項目	意見概要	市の考え方	備考	計画ページ
5	第2編第1章施策1-2 (2) 保育者の資質・意欲の向上	「児童発達支援センターとの連携」とはめばえのことが。	めばえとの連携を想定しています。		59
6	第2編第1章施策1-3	施策の方向の中に、教員の資質、意欲向上が入るといと思う。	子ども・子育て支援事業計画の関連計画に、「掛川市教育振興計画 人づくり構想かけがわ」があり、こちらには、「頼もしい先生を育成する研修の推進」などが記載されています。子ども・子育て支援事業計画には、学校教育のうち、こどもに直接関連する部分を掲載しました。		52
7	第2編第1章施策1-3 (1) 学校教育の推進	小学校低学年はきめ細やかな指導が必要なため、40人学級に戻すのは反対である。	H26年度現在、県費も合わせて学校サポーターを全小学校に配置しています。県へは、35人学級の継続とともに、低学年における多人数学級への支援員の配置を重ねて要望していきます。		60
8	第2編第1章施策1-3 (1) 学校教育の推進	小学校3年生から外国語活動が始まる前に、外国人ALTの配置を進めてほしい。	コミュニケーション能力の素地を養う小学校の外国語活動充実のため、状況に応じて派遣をしています。国の動向を見ながら派遣の充実に努めていきます。		60
9	第2編第1章施策2-1 (1) 子育てに関する情報提供やサポートの充実	子育てコンシェルジュには、看護師、小学校教員などと連携し、料理教室やコンサートなども開催してもらいたい。	現在、コンシェルジュが直接イベントを開催する計画はありませんが、各種関連機関との連携を密にし、必要な情報を子育て世帯に提供できる体制を構築します。		62
10	第2編第1章施策2-1 (2) 子ども・子育てにかかる経済的負担の軽減	子ども医療費の無償化やベビーベッドの無料貸し出しなどがあるとよい。	通院時の一部自己負担の設定は、軽症による過剰受診を懸念する小笠医師会のご理解・ご協力のもとに導入されたものであり、現時点で見直す予定はありません。その他経済的負担の軽減については、ニーズを基に検討していきます。		62
11	第2編第1章施策2-1 (3) 子育て支援拠点の充実	土日でも利用できる子育て支援センターがほしい。	現在、子育て支援センターの土日閉館について、具体的な計画はないため、既存施設での利用をお願いします。利用者のニーズが高い場合は検討していきます。		63
12	第2編第1章施策2-1 (3) 子育て支援拠点の充実	育児相談と発達相談を分けて考えて、その後の連携につなげてほしい。	現在、相談内容に応じた専門職が中心となって個々の相談に対応しております。相互の連携についても引き続き努めます。		63
13	第2編第1章施策2-1 (5) 家庭教育の充実	三世代同居推進が「取り組み・事業」のトップに来るのは違和感がある。地域で子育てを協働で行うという方向性を打ち出した方が、これからの社会に受け入れられやすいと考える。	「地域で子育てを協働で行う」という視点については、基本目標3で設定しています。「取り組み・事業」における三世代同居応援事業の位置については再度検討します。		64
14	第2編第1章施策2-1 (5) 家庭教育の充実	「取り組み・事業」について③コモンセンス講座と特定するのは違和感がある。	多くの方法で多方面の情報を提供する必要があるので、コモンセンス講座に特定せず、「地域子育て講座」と修正します。		64
15	第2編第1章施策2-2 (1) 定期利用型保育事業の充実	行きたい幼稚園・保育園にいつでも入れる環境であれば子育てはしやすい。	特に0から2歳児について、受入が困難になっている現状があることから、この部分の受入施設の整備を重点的に実施していきます。		65

No.	項目	意見概要	市の考え方	備考	計画ページ
16	第2編第1章施策2-2(3)大東・大須賀区域の施設再編整備	定員割れてしている公立幼稚園があることから、大東・大須賀区域の幼保再編計画を進めてほしい。	施策2-2(3)にあるとおり、地域の理解を得て進めていきます。		66
17	第2編第1章施策2-3(3)不安や悩みに対する相談体制の充実	将来を見通す支援や、縦に継続していく支援方法を考えてほしい。	子育てコンシェルジュ事業の充実などを通じて検討していきます。		68
18	第2編第1章施策3-1(3)子育てと仕事の両立環境の確立	市として、市内の企業に育児支援に関わる協力を働きかけてほしい。	子育てと仕事の両立環境の確立は重要な課題であることから、各種関係機関と連携し働きかけを行っていきます。	3件	70
19	第2編第2章6放課後児童健全育成事業(低学年)	「平成29年度を目途に提供体制の拡充を図ります。」とあるが、27、28年度についてはどのような対応を考えているか。	現在、定員を超えているクラブもあることから、一律に整備を進めるのではなく、対応が必要なクラブから優先的に、学校施設の利用や地域との協働などによる実施場所の確保を進めていきます。		92
20	第2編第2章7放課後児童健全育成事業(高学年)	小学校高学年は自立への移行期間である。日割り利用や長期休暇時のみの利用など、一時的な利用がしやすい制度設計にした方がよい。	具体的な制度設計については、利用者のニーズや関係者による意見交換などを通じて、利用しやすいものになるよう努めます。		96
21	第2編第2章12病児・病後児保育事業	病児保育のニーズが高いと思われるため、実施を検討してもらいたい。	現在、掛川市では病児保育を実施していませんが、ニーズが高い場合は実施について検討していきます。		104
22	その他	私立幼稚園保育料の多子軽減措置を実施してほしい。	私立幼稚園保育料の多子軽減措置については、現在実施の方向で検討しています。		—
23	その他	公立と私立の差(金銭面、指導や支援面)ができるだけないことを要望する。	公立幼稚園の保育料について、私立幼稚園同様、応能負担による保育料を導入する方向で検討するなど、公私のバランスに配慮した形になるよう検討を進めています。		—
24	その他	1号認定、2号認定の保育料について、保育時間などのバランスに配慮して設定してもらいたい。	バランスに配慮した保育料となるよう検討を進めています。		—

No2と18は同内容の意見が3件ずつみられたため、意見数は合計28件となる。